# 螢火（1958）

**メディア** 映画
**ジャンル** 時代劇　ドラマ
**製作国** 日本
**色彩** B&W
**時間** 123分
**初公開日** 1958/03/18
**公開情報** 松竹

**【解説】**
織田作之助の短編小説『蛍』を、八住利雄が脚色し五所平之助が監督。五所にとっては初めてかつ唯一の本格的な時代劇。
伏見で船宿の寺田屋を営んでいるのは、甲斐性なしの伊助ではなくその妻の登勢だった。しっかり者の登勢は見事に店を切り盛りしていたが、伊助の継母であるお定には冷たく当たられていた。しかし登勢は夫を助け、貧しい娘お良を養女として育てていた。しかし伊助は京都に女を囲い足繁く通う始末。そんなある日、坂本龍馬という男が寺田屋を訪れる。登勢は龍馬に惹かれるが、龍馬は娘のお良のことを想っていた。追っ手が寺田屋にまで迫ってきたとき、登勢は龍馬とお良を身を挺して逃してやるのだった。

**【クレジット】**
**監督** 五所平之助
**製作** 加賀二郎
内山義重
**原作** 織田作之助
**脚本** 八住利雄
**撮影** 宮島義勇
**美術** 平川透徹
**音楽** 芥川也寸志
**出演** 淡島千景
伴淳三郎
森美樹
若尾文子
三好栄子
水原真知子
須賀不二男

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.